

こんかいのゾーン

SCHEDULE

日付	予定
9/23 日	残暑の種まき会
9/24 月	
9/25 火	定例ミーティング
9/26 水	
9/27 木	PJミーティング
9/28 金	
9/29 土	
9/30 日	

こんかいのまちグルメ

グルメンチ

福島県三春町



滝桜や三春駒で有名な福島県三春町のご当地グルメ。全国2位の出荷量を誇るピーマンを使用したメンチカツで、中華風の味付けがされているためソースをかけずにいただけます。ひき肉に混ぜ込まれたみじん切りピーマンが大きな存在感を示しており、その風味が病みつきになりそうです。「P作王子」というグルメンチのゆるキャラも登場し、三春町を盛り上げています。

参考：<https://miharu-love.net/eat/gurumenchi/>



なつやすみ遠征レポート -ネパール・カトマンズ-

カトマンズはネパールの首都。東西に細長いネパールの国土の中で、中央やや東寄りにあるカトマンズ盆地のみに位置している。2015年に大地震に襲われ、様々な建築物が被害を受けた。中心部はもちろんのこと、カトマンズ盆地の周囲に広がる農村集落にもその被害は及んだ。現在でもその被害は残り、中心部でも未だに積み重ねられた瓦礫を目にする。

集落の家々は高台に位置し、周囲の低地部は耕作地として利用している。その立地と、一般的な住居は4階建てと密集して居住していることを考えると、集落の起源を、戦乱の中で防御機能が必要とされた城塞都市のようなものに求めることができるのかもしれない。ただ、不明点が多く、確かなことはわからない。

これらの集落は、赤の建材で建築されており、少し遠くから眺めると、周囲の一面に広がる耕作地の緑と、上空に広がる純度の高い青の中で、くっきりとしたコントラストで立ち上がってくる。しかし、色のコントラストのある中で、それらの建物は、耕作地やさらに周囲の自然から浮かびあがるというような印象は抱かせない。あくまで「自然」の一部としてそこにある。そう見える。周囲の山並みの中、囲んでいる耕作地の中であって違和感がない。想像の中にしか存在しないと思っていた、美しい風景がそこにはある。

しかし、この集落を全面的に賛美しようというものではない。伝統的家屋には不都合な要素があるであろうし、不衛生と思われるようなごみの廃棄も行われ、道路は未舗装だ。ハエは飛んでいるし、野犬も走りまわり、家の中も日本ほどはきれいではない。多くの人は貧困の中で、生活している。経済的な豊かさを手に入れたのちにも、このような集落の状態を保とうと思ひ、そして実際に保っているかどうかは確信がない。

利便性も、清潔さも、経済的豊かさも、ないよりはあった方が当然いい。しかし、一方で、集落の美しさというものも、かけがえのないものだ。いかに両者を共存させるデザインを行うべきなのか。そしてその解決方法は果たしてデザインだけなのか。より深い考慮が求められると思われた訪問だった。

こんかいの一言▽井上：夏休みが終わりますが、年々新学期が始まる感が薄れています。▽櫻本：涼しくなってきましたね。春や秋のような過ごしやすい季節は大好きです。▽木村：根津神社例大祭に参加しました。通い慣れた藍染大通りもいつもとは全く違う表情をしていました。▽原：種まき会でした！立派に育って欲しいものです。▽秋月：学生生活ラスト2の夏休みが終わりました。▽時丸：インドの貨物列車は目の前を通過するのに5分かかかるくらいべらぼうに長いです。▽植田：関西に戻ってきました。▽久保田：肌寒くなってきましたね